

# 初めての植物観察覚書・秋期編 H.28年10月2日開催

初めての植物観察で見られた植物について、備忘録的に記録に止めておきます。この覚書は、行事の記録ですが、どなたでもホームページ <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/ibaraki/index.html> 上からダウンロードいただけます。また、博物館三階のレファレンスルーム内に、バックナンバーと共に置いておきますので、ご自由にお持ちいただけます。次の観察会でも配布するように致します。観察会では、私の不勉強からわかりにくかったり、また、間違っていたりすることも時々(しばしばかも?)あるかと思います。そういったものは、この覚書で訂正補足させていただきます。また、この行事では、中級クラス植物観察会の皆さんに解説その他ご協力を頂いています。ここに記してお礼申し上げます。

さて、この日は、秋晴れ。良い天気なのは良いのですが、ちょっと暑いくらいでした。もう10月なのに、どうも変な年ですね?ともあれ、お疲れ様でした。この日は、裏山にかけて歩いてみました。

まず、最初に観察したのは、美術館の建物の裏にあるフヨウです。いつも観察する樹ですが、何度見ても面白い物です。中級クラスの小川さんにアオイ科の特徴を説明してもらいました。雌薬の花柱の回りに雄薬がまとまってついているのが特徴でしたね。すべての雄薬の花糸が基部の方で合着しているのです。このような雄薬を、単体雄薬といいます。次に見つけたのは、オオバコ。ツボミオオバコかなと思いましたが、花序の毛や葉の形が異なるようです。続いてスゲの観察。ナキリスゲを材料にカヤツリグサ科の特徴についてお話ししました。果包という言葉覚えていますか?スゲの仲間を知る上で大変重要な物でしたね。また、今回はイネ科もたくさん観察しました。まずは、アキメヒシバ。小穂の構造についてお話ししました。一つの粒状のものの中に二つ花があるという話をしましたね。類似のメヒシバとの違いなどの説明もしました。さらに進むと、エノキグサがありました。エノキグサは、トウダイグサ科の植物です。中級クラスの白井さんに解説いただきました。このとき、話の中で杯状花序の話が出ました。トウダイグサ科では広く見られる花序の形態でとても特徴的なものです。ただし、エノキグサは杯状花序にはなっていません。その後、満開のヤブラン、セトウチホトトギス、ヌカキビを見ながら裏山に入りました。



小川さんから解説



フヨウ



オオバコ



エノキグサ



イヌビエ



ヤブラン



セトウチホトトギス



ヌカキビ

裏山に入るとササクサが生えていました。イネ科の植物で、小穂が動物にくっつくのでしたね。葉の横走脈などを観察しました。森にはいるとシダがたくさんありました。イノデの仲間、アマクサシダ、フモトシダなどを使って孢子嚢群（ソーラス）の形の違いなど、シダの見所を勉強しました。続いて、アオキでは、行成さんからアオキの実にだけつく虫コブのお話をさせていただきました。雑木林はこの辺で引き返し、博物館方面に降ります。途中でイヌシデを観察しました。脈の走り方や毛の生え方などがポイントなのでしたね。その横には、ムクノキがありました。実がなっていたので採集しました。甘味があるので、昔は子供達のおやつになっていたなどの話をしました。その後は、カスケード沿いに下って、噴水まで歩いて解散しました。



ササクサ



イノデの仲間



アマクサシダ



フモトシダ



アラカシ



アオキ



イヌシデ



ムクノキ

写真撮影：松枝悦子さん

## 質問コーナー

行事の間に頂いた質問などにお答えします。ご不明の点は、メールなどでもお問い合わせください。

Q：これはフジバカマでしょうか？

A：観察会の時に中級クラスの小部さんが日和佐で採ってこられた植物について、質問がありました。フジバカマは、秋の七草にもなっている万葉人には馴染みの植物ですが、現在では絶滅危惧種となっており、ほとんど見ることができません。特徴としては、葉が深く切れ込んで三つに分かれていることなのですが、フジバカマの仲間にはいろいろな物があり、識別がとても難しいのです。私は、この仲間が苦手なほとんどお手上げ状態。そこで、この仲間にとっても詳しい当館の小川上席学芸員に助けを求めました。その結果、その植物は、残念ながらフジバカマではなくヒヨドリバナとのこと。ヒヨドリバナは、フジバカマに近縁な植物ですが、県内の山林では普通に見られる別の種の植物です。生えていた場所も川の土手ということで、フジバカマの生育環境と同じなのですが難しいものです。

お問い合わせは以下まで。

〒770-8070 徳島県徳島市八万町徳島県立博物館 Tel 088-668-3636 F A X 088-668-7197

茨木靖（いばらぎやすし） ibaragi\_yasushi\_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

徳島県立博物館では、学芸員は交代勤務ですので年末年始以外は、誰かが居ります。植物については私が不在の場合、小川上席学芸員がいれば、ご質問にお答えできます。お気軽に博物館にご連絡ください。メールも大歓迎です。